



コロナ禍での1年

畠山みのり連合後援会
会長 阿部 孝司

今年は、コロナウィルス感染拡大の不安から後援会の総会中止や予定しておりました行事についても見送る結果となりました。

コロナウィルスの感染は、世界的大流行によって日々の生活まで変える事態が続いて一年近くになろうとしています。

各国は、競ってワクチンの開発に取り組んでおりますが、いまだ特効薬の開発には至っていない状況で、とりわけ大国と云われる国の指導者は、政治的な思惑も相まって、安全性の確認も担保できないワクチンを販売すべく競っています。

地球温暖化によると思われる自然災害も「これまで経験したことの無い」災害として多くの専門家が警鐘を鳴らしています。

札幌においては、これまで自然災害による被害が比較的少ない状況ではありますが、本州においては「これまで経験したことの無い」との報道を何度も耳にしたことか、自然災害により多くの犠牲者や被害に見舞われた年でもあります。

7年8ヶ月にもおよぶ安倍政権が終わり、菅内閣がスタートしてコロナによる経済の立て直しをどのように進めるか、次期衆議院選挙に向けた大きな判断にもなってくると思います。

身近な問題としては、核の最終処分場の受け入れ地として2町村が手を挙げている問題で、知事の判断がどのような方向性を示すのか、道議会としての議会が大変重要な局面を迎えており、畠山議員には道民・市民が安心して暮らせるまちづくりに全力で取り組んで頂きたいと思ひます。

2020年も残すところ2か月を切りましたが、コロナウィルスの感染は、個々の意識が感染を最小限に食い止めると思ひますので、来年こそコロナ騒動が終息して後援会としての活動ができるまで、皆さんと共にがんばりましょう。

畠山みのり活動日誌 (2020年4月から10月まで)

4月	7日	文教委員会
	8日	【中止】民主・議員ネット役員会 少子・高齢社会対策特別委員会
	13日	【延期】南区地域政策研究会
	18日	【中止】澄川第九町内会定期総会
	28日	臨時会
5月	1日	【中止】全道メーデー大会
	9日	【中止】澄川地区連合会定期総会
	12日	文教委員会
	13日	少子・高齢社会対策特別委員会
	16日	【延期】南区連合ファミリーメーデー
	20日	【延期】全国地方議会サミット2020
	22日	新庁舎へ引越し
6月	25日	【延期】国内港湾事情調査
	2日	文教委員会
	3日	少子・高齢社会対策特別委員会 北海道自転車条例推進会議
	6日	【中止】立憲パートナーズ集会
	15日	文教委員会 少子・高齢社会対策特別委員会
	16日	令和2年第2回定例道議会 ～7月3日まで
	23日	畠山みのり一般質問
7月	26日	予算特別委員会 ～7月2日まで 立憲民主党札幌定期大会
	2日	予算特別委員会知事総括質疑
	3日	文教委員会 少子・高齢社会対策特別委員会 文教委員会付託議案審査の経過と結果を報告
	4日	【延期】南区連合さくらんぼ祭り 女性会議全体会議
	9日	【延期】文教委員会中央要請
	10日	立憲ジェンダー平等推進会議(ZOOM)
	11日	ウポポイ開業記念式典
8月	15日	【延期】サハリン視察
	18日	立憲第1区総支部定期大会
	20日	日高期成会からの要請行動
	22日	教育委員会傍聴
	29日	高齢社会を明るくする女性の会役員会
	1日	南区合同街宣
	4日	文教委員会
9月	5日	少子・高齢社会対策特別委員会 全道林活議連連絡会定期総会 立憲全道幹事長会議
	6日	石狩湾振興管理組合議会 「もうひとつのクライマックス」記者会見参加
	9日	南区合同街宣
	10日	真駒内神社例大祭
	18日	臨時文教委員会
	22日	【中止】夏の献血呼びかけ運動
	24日	シルバー人材センターからの要望
10月	26日	文教委員会道内調査(石狩・釧路) ～28日まで
	30日	南区合同街宣
	31日	連合北海道との定例道議会向けての打合せ
	1日	文教委員会
	2日	少子・高齢社会対策特別委員会
	4日	NTT労組札幌退職者の会
	5日	女性会議全体会議
11月	7日	文教委員会 少子・高齢社会対策特別委員会
	8日	令和2年第3回定例道議会 ～10月2日まで
	12日	札幌レインボープライドパレード
	14日	高レベル放射性廃棄物会派勉強会
	17日	北海道社会福祉協議会からの要請
	18日	スポーツ議連総会
	19日	立憲北海道第1区常任幹事会
12月	23日	予算特別委員会
	25日	予算特別委員会分科会 ～29日まで 畠山みのり質問(25日・29日)
	26日	立憲民主党道連結党大会
	30日	予算特別委員会知事総括質疑
	1日	文教委員会 少子・高齢社会対策特別委員会 自転車条例推進会議
	10日	立憲北海道第1区総支部結成大会
	13日	道外調査 三重県 ～15日まで
1月	21日	道立北の森づくり専門学院視察 ～22日

ポスター・看板を設置していただける方募集中!

笑顔あふれる
街づくりを実現します。

お気軽に畠山みのり事務所へ
〒005-0006札幌市南区澄川6条4丁目2-1澄川ビル2F
TEL : 011-813-7733 FAX : 011-813-7778



写真で見る畠山みのりの活動



2020.7.3
文教委員会付託議案審議の経過と結果を報告しました



2020.7.11
オープンしたアイヌ文化を復興・発展させる拠点としての「ウポバイ(民族共生象徴空間)」の式典に参加



2020.8.9
南区街宣 道下衆議院議員と藤野、川沿、澄川を回りました



2020.9.12
多様性を認め合う社会の実現をめざして「さっぽろレインボープライドパレード」に参加しました



2020.10.14
道議会文教委員会の道外視察で三重県県議会を訪問しました



2020.8.24
シルバー人材センターから要請を受ける



2020.9.29
予算特別委員会で高レベル放射性廃棄物最終処分場選定問題について質問しました



2020.10.21
軽量で強度に優れたCLT(直交集合板)の調査で北海道立北の森づくり学院を視察

令和2年 第3回定例道議会報告

第3回定例道議会(2020年9月8日開会～10月2日閉会)は、令和2年度一般会計補正予算、「特定放射性廃棄物の処分に関する決議」などを可決しました。会派の代表質問では、知事の政治姿勢、新型コロナウイルス感染症対策、行財政運営、医療・福祉政策、経済・雇用対策、高レベル放射性廃棄物最終処分場選定問題、交通政策、一次産業振興などについて質しました。

主な審議経過について

新型コロナウイルス感染症に関する緊急対策の補正予算案を提出。これにより一般会計予算総額は3兆6351億円、特別会計1兆1123億円となりました。代表質問での高レベル放射性廃棄物最終処分場選定問題について、知事の曖昧な姿勢が寿都町に続いて神恵内村の動きにつながったのではないかとの指摘に対して、様々なレベルで条例の遵守と慎重な検討を求めているという答弁を繰り返し、文獻調査の応募に明確に反対する姿勢は示しませんでした。

決定しました。有識者会議は第1波での道独自の緊急事態宣言、第2波での札幌市との緊急共同宣言など、独自の判断に基づく政策決定そのものには「概ね妥当」とした一方で、この間の政策対応に関しては、検査体制や医療提供体制、経済や教育に及ぼす影響への対応、市町村との連携など改善すべき課題が多いことを指摘しています。知事は、わが会派や有識者会議で指摘されたことを真摯に受け止め、検証はあくまでも中間的なものであり、指摘された各事業の進捗状況や現状分析などを行い、今後の対策を迅速に実効性があるものに進めていくことが重要だと述べました。

採択された決議・意見書

- 特定放射性廃棄物の処分に関する決議
- 新型コロナウイルス感染症対策に係る財政措置の充実を求める

当面する課題と対応

(1) 新型コロナウイルス感染症対策に関する中間検証について
道は、9月7日「北海道における新型コロナウイルス感染症対策に関する中間検証取り組み」とを

(2) 高レベル放射性廃棄物最終処分場選定問題について
原発の使用済み燃料から出る核ゴミの最終処分場をめぐり、8月に寿都町、9月には神恵内町が唐突に、最終処分場誘致に向けた文獻調査に応募することを表明しました。9月29日畠山みのりは予算特別委員会で質問に立ち、北海道は「核ゴミ」の処分場を受け入れない「北海道条例」がある自治体であることの重みを考え、知事には条例を遵守し核ゴミ処分場を受け入れないことを求めました。

新型コロナ感染症対策について

体調不良に関する不安や
その他の疑問は一般相談窓口へ

札幌市新型コロナウイルス一般相談窓口

011-632-4567 (毎日9時～21時)

体調がすぐれない方がいるときの
家庭での注意事項

- 外出から帰ったら、手洗い・うがいを忘れずに
- 家の中でもできるだけマスクをして、換気に気を付ける
- タオルの共用は避け、衣類を洗濯するときは手袋を着ける
- トイレや洗面所、ドアノブなどの共用部はこまめに清掃・消毒する



新型コロナの新規感染者数の増加に伴い、北海道は警戒ステージを3に引き上げました。(2020年11月10日現在) 不要不急の外出を避け、感染拡大地域との往来を控えるなど、より一層の感染防止対策を徹底し、感染拡大を防ぎましょう。

発熱があり医療機関に行くときは、必ず事前に電話をしましょう。



感染の疑いがある方などの相談先

- 1 まずは、かかりつけ医など身近な医療機関へお電話を
- 2 医療機関が分からない方は、**救急安心センターさっぽろ #7119**

または **011-272-7119** へまず電話を(毎日24時間)

■ 聴覚に障がいのある方をはじめ、電話相談が難しい方は、**保健所健康企画課のFAX 622-7221**をご利用いただくか、全日本ろうあ連盟ホームページをご覧ください。

全日本ろうあ連盟 相談窓口

検索